

宮崎県地域志向の看護力育成事業 研修会

地域を志向した看護と地域連携

～地域包括ケアの中で何ができるか、何をすべきか～

講師：角田直枝氏（茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター看護局長、
元日本訪問看護振興財団事業部長、がん看護専門看護師）
中島由美子氏（医療法人恒貴会 訪問看護ステーション愛美園管理者）

平成 28 年 8 月 21 日（日） 10:00～12:00 中講義室 4 において標記研修会を開催し、100 名を超える県内看護職の方々に参加いただきました。

本事業は県の地方創生事業「魅力ある大学づくり・人づくり」事業の一つとして、平成 27 年度から、県・県立看護大学・宮崎県看護協会の連携のもと取り組んでいる「地域志向の看護力育成事業」の一環で開催されました。

「地域志向の看護力」とは病院に勤めていても、地域で活動していても、対象の方が地域で暮らしていくには、と生活の場を常に見据えて、看護の在り方を考え実践する力と義務づけています。

本研修会では、茨城県内で施設と地域の両方の立場から、この地域志向の看護力を発揮し、生活の場を見据えた看護を行い、それによって切れ目ない看護を提供する実践を積み重ねておられる角田先生、中島先生をお招きしました。

実践例を踏まえたお話の中から地域志向の看護を実践するために必要なことを学ぶことができました。

【講師の先生方】



【当日のアンケートから】

先生方からの事例に基づいたわかりやすい講義により、「地域の看護職がつながることの強みがイメージできた」「顔の見える関係づくりが地域包括ケアシステムを動かす看護につながるということだとわかった」など、具体的な実践について学ぶことができたという意見が多く、参加した皆様に満足していただくことができました。

また、エネルギーあふれるお二人からパワーをいただき、「明日から生かしていきたい」「今後も地域を大切に働いていきたい」といった感想を書かれている方も多く、活気のある有意義な研修会となりました。